

福井大学大学院  
工学研究科 2年

山本 恭也

留学先 **ベトナム・  
イギリス**

留学期間 **令和元年8月9日  
～令和元年9月20日**

支援企業

前田工織株式会社



## ①留学をしようと思った動機

学生の中に大学内ではできない経験をしたいと思ったことです。社会人として働いている友人たちとの会話を通して大学生生活にもっと学ぶべきことがあると強く感じるようになりました。それは大学で勉強したことはほとんど社会に出てから活きない、知識だけではなく、より実践的な学びを得ることが必要というようなものです。そこで社会人になってからはなかなか時間の都合上難しい留学という手段を通して社会に出てからも通用するような人間に成長したいと思いました。

## ②留学の内容および成果

ベトナムに約1週間、イギリスに約2か月活動しました。ベトナムでは日系企業のベトナム工場にてインターンシップを通して、海外工場がどのような意味を持っているか、そこでの働き方はどのようなものかを学びました。イギリスでは語学学校に通って英語を勉強しながら、フィールドワークという形でイギリスと日本との経済状況や文化の違いを学びました。

ベトナムでは他国と日本との労働環境の違いを知ることができました。日本での生活が大変恵まれているものであることを知ると同時に仕事だけでなく人生における価値観の違いを知ることができました。

イギリスでは英語力を高めることができました。それまではほとんど英語は話せませんでしたが、簡単な日常会話程度ならできるようになりました。さらに、博物館や美術館、大聖堂など日本では普段ほとんど触れることがない文化に触れることができ、宗教や芸術が人や生活に与える影響を感じることができました。

どちらの留学先での学びも普段日本で生活しては絶対に手に入らないような学びとなったと感じています。これによって例えば宗教的観点などの普段の生活において今までは意識してこなかった部分に目が行くようになり、さらには物事を考える際にも新たな角度から対象を見つめることができるようになり、大きく成長できたと実感しています。